

試験成績報告書

依頼者名：株式会社 LEC 殿

住 所：東京都足立区綾瀬 7-4-1



一般財団法人 日本文化用品安全試験所
 〒130-8611 東京都墨田区東駒形4-22-4
 電話 03-3829-2509
 FAX 03-3829-2595

平成30年11月6日にご依頼のありました試料の試験結果を以下にご報告申し上げます。

試料名及び数量	Myプラロッカー 3点
試験項目	下記の通り
試験実施日	平成30年11月19日

試験項目

1. 天板の耐荷重テスト
 - 1) 静荷重試験
 - 2) 耐荷重試験
2. 棚板の耐荷重テスト
3. 扉面の耐荷重テスト

試料



写真1 試料1



写真2 試料2



写真3 試料3

承 認		担 当 者	
--------	---	-------------	---

- 注) ① 本成績書の内容を広告物、その他に記載する場合は、予め本財団理事長の了承を受けてください。
 ② 本成績書の一部だけを複製して使用しないようお願いいたします。
 ③ 本成績書は、提出された試料について試験・検査したものです。

試験方法

提出された試料を依頼者との協議により下記試験方法で試験を行う。

1. 天板の耐荷重テスト

1) 静荷重試験

JIS S 1033:2015『オフィス家具—収納家具』の8.2 b) 2)「天板及び地板の静荷重試験」の試験方法を準用し、下記条件により試験を行い、各部について異常の有無を確認する。
試料2 についてのみ試験を行う。

【条件】 当て板 : 直径100 mm 円盤
垂直力 : 750 N (76.5 kgf) 10 秒間 10 回
試験箇所 : 天板中央

2) 耐荷重試験

提出された試料を水平な試験床上に置き、天板に350 mm×550 mmの当て板を介して毎分約100 mmの速さで垂直荷重を加え、破損等の異常が認められるときの最大荷重値を調べる。
加える垂直荷重の最大値は50000 N (5098 kgf) までとする。
試料1 についてのみ試験を行う。

2. 棚板の耐荷重テスト

JIS S 1033:2015『オフィス家具—収納家具』の8.2 a) 2)「棚板のたわみ試験」の試験方法を準用し、下記条件により試験を行い、たわみ率を下記の式により算出し、各部について異常の有無を確認する。

試料2 についてのみ試験を行う。

【条件】 おもり : 1.5 kg/dm²
試験質量 : 14.9 kg
時間 : 1 週間
式 : たわみ率 = (B - A) / L × 100
A : 載荷前のたわみ量
B : 1 週間後のたわみ量
L : 支持具点間距離・264 mm

3. 扉面の耐荷重テスト

試験壁を設置した水平な試験床上に試料を置き、扉面中央に直径100 mmの当て板を介して毎分約100 mmの速さで水平荷重を加え、破損等の異常が認められるときの最大荷重値を調べる。
加える水平荷重の最大値は2000 N (204 kgf) までとする。
試料3 についてのみ試験を行う。

試験結果

試験項目	結果
1. 天板の耐荷重テスト	1) 静荷重試験 使用上支障のある破損、変形等の異常を認めず。(写真4)
	2) 耐荷重試験 最大荷重値 : 15765 N (1608 kgf) (写真5、写真6、グラフ1)
2. 棚板の耐荷重テスト	たわみ量 : 3.2 mm たわみ率 : 1.2 % 使用上支障のある破損、変形等の異常を認めず。(写真7)
3. 扉面の耐荷重テスト	最大荷重値 : 2000 N (204 kgf) 使用上支障のある破損、変形等の異常を認めず。(写真8、写真9)

1. 天板の耐荷重テスト 1) 静荷重試験



写真4 750 N (76.5 kgf) 載荷中

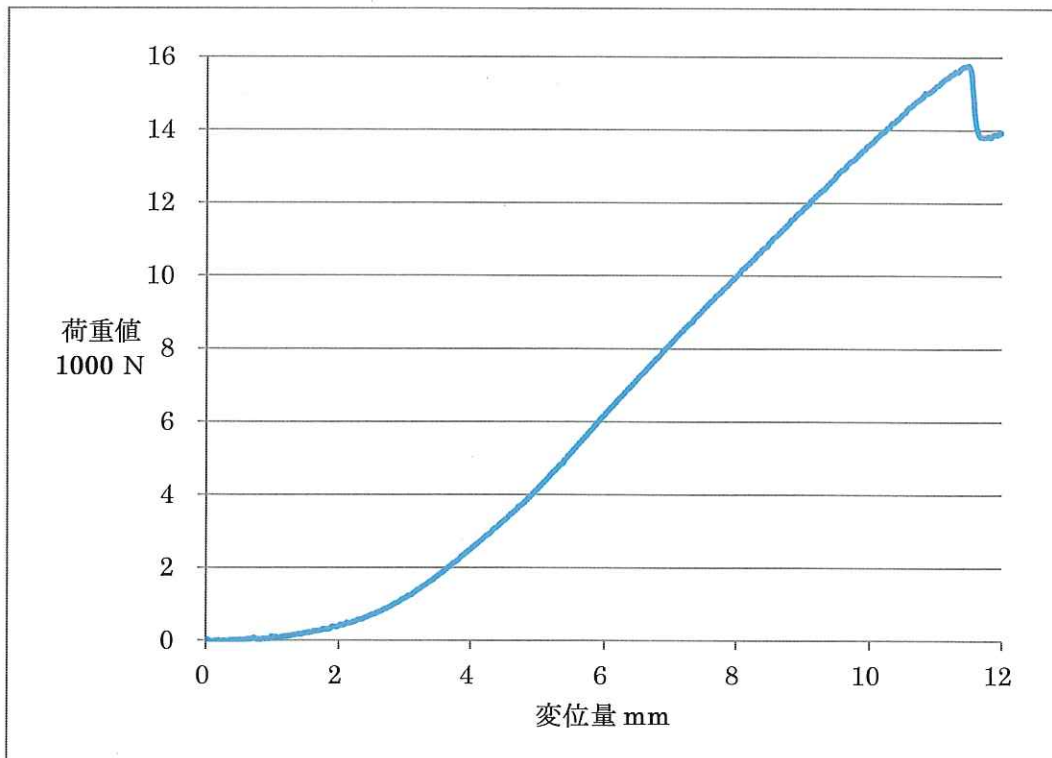
1. 天板の耐荷重テスト 2) 耐荷重試験



写真5 試験前



写真6 破損の様子



グラフ1

2. 棚板の耐荷重テスト



写真7 载荷1週間後

3. 扉面の耐荷重テスト



写真8 試験前

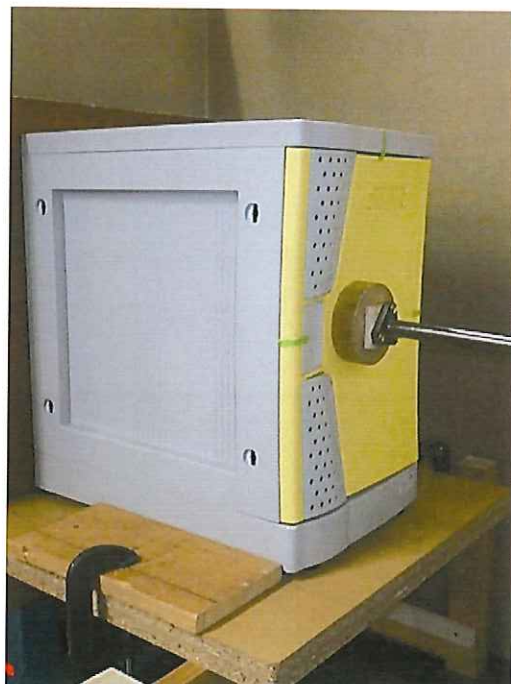


写真9 2000 N (204 kgf) 载荷中

以上